

第 48 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2013 年 9 月 24 日（火） 15：00～17：20
2. 場 所：東京理科大学 森戸記念館 2 階会議室
3. 出席者（役職／氏名順、敬称略）

	役職	氏名	所属	出欠
1	議長	三木 哲也	電子情報通信学会	出
2	副議長	檜山 爲次郎	日本化学会	出
3	幹事	鶴原 稔也	電子情報通信学会	出
4	委員	林 克己	日本技術士会	出
5		剣持 庸一	日本工学教育協会	出
6		宮越 直樹	日本原子力学会	出
7		酒井 祐之 (代理 森 正美)	電気学会	出
8	オブザーバー	川上 理英	日本工学教育協会	出
9	事務局	木暮 賢司	日本工学会 事務局	出

4. 議題

- ①前回議事録案の確認（技倫資料 48-3）
- ②WECC2015 について（技倫資料 48-12～13）
- ③平成 25 年度技術者倫理シンポジウムおよびアンケートについて
(技倫資料 48-4～6, 15～16)
- ④日本工学教育協会 H25 年度技術者倫理 WS 開催案内について（技倫資料 48-7）
- ⑤日本工学教育協会 技術者倫理教育における学習・教育目標について
(技倫資料 48-8, 48-17)
- ⑥日本工学会事務局の各事業活動への対応について（技倫資料 48-9）
- ⑦「技術者倫理と安全文化」について（原子力学会，宮越委員，技倫資料 48-14）
- ⑧次回協議会の日程
- ⑨その他：「技術者による実践的工学倫理－先人の知恵と戦いから学ぶ－」第 3 版，
中村収三編著，化学同人，2013 年 9 月，2310 円（檜山副議長）

5. 配布資料：

- 技倫資料 48-1：第 48 回技術倫理協議会 議題表
- 技倫資料 48-2：第 48 回技術倫理協議会 出欠表
- 技倫資料 48-3：第 47 回技術倫理協議会 議事録(案)
- 技倫資料 48-4：平成 25 年度日本工学会 技術倫理協議会シンポジウム企画（案）
- 技倫資料 48-5：平成 25 年度日本工学会 技術倫理協議会シンポジウムパンフレット（案）
- 技倫資料 48-6：技術倫理に関するアンケートの実施について
- 技倫資料 48-7：日本工学教育協会 H25 年度技術者倫理 WS 開催案内案。
- 技倫資料 48-8：日本工学教育協会 技術者倫理教育における学習・教育目標
- 技倫資料 48-9：日本工学会事務局の各事業活動への対応について
- 技倫資料 48-10：第 48 回技術倫理協議会 会員活動報告
- 技倫資料 48-11：平成 25 年度技術倫理協議会 委員名簿
- 技倫資料 48-12：WECC2015 主要テーマ III-① セッション・テーマ案に関する補足説明

- 技倫資料 48-13：WECC2015 主要テーマ III-① セッション・テーマ案
 技倫資料 48-14：「技術者倫理と安全文化」について（原子力学会，宮越委員）
 技倫資料 48-15：平成 25 年度シンポジウムプログラム案
 技倫資料 48-16：日本学術会議 声明 科学者の行動規範－改定版－
 技倫資料 48-17：日本工学教育協会 技術者倫理 調査研究委員会企画（案）

6. 議 事

- ①前回議事録案の確認（技倫資料 48-3，鶴原幹事）
- ・原案通り確認した。
- ②「技術者倫理と安全文化」について（技倫資料 48-14，宮越委員）
- ・技倫資料 48-14 により，宮越委員からプレゼンテーションがあった。
 - ・本資料は，原子力学会内の倫理委員会で議論しているものの一部である。
- ③アンケートについて（技倫資料 48-6，鶴原幹事）
- ・アンケートの回答期間を考慮すると，9 月末までにアンケート内容確定，10 月早々に発送，としなければならない。
 - ・日本工学会には 98 の学協会が加盟しており，事務局から各学協会の事務局にメールにて送付する。
 - ・アンケートの受付窓口は，日本工学会事務局とするが，分析等は実行委員会で行う。
- ④プログラムについて（技倫資料 48-15，三木議長）
- ・前回の協議会で，産業界や大学も加えた方が良い，との意見があったのでサブテーマに，「－学会，産業界，大学の果たすべき役割は？－」を加えた。
- ⑤WECC2015 について（技倫資料 48-12～13，三木議長）
- ・主要テーマ III-①のセッションテーマ案として，現在 8 コマ（100 分，2 名）あるが，半分にして欲しいとの依頼がきている。
 - ・技倫資料 48-13 のテーマ番号 6 の「Social Implication of Technology」は，主要テーマ III-①～④の統一テーマとして提案する予定。
- ⑥会員学協会活動報告について（技倫資料 48-10，鶴原幹事）

	学協会名	報告概要
1	電気学会	① 丸山信氏(土木学会 倫理・社会規範委員会幹事) 講演 (H25. 9. 24) 「土木技術者の倫理規定」に関する検討経過（仮題） ② 技術倫理特別企画（「学生・若手に役立つ技術者理倫理」）を関西大学にて開催予定（H25. 12. 6） ・ロバストな技術者倫理の講演 ・キャリアデザインと技術者倫理の講演 ・機械系の技術者倫理教育の講演 ・西洋哲学から見た日本の技術者倫理 ・パネル討論「学生・若手に役立つ技術者理倫理」 ③ 第 7 回技術者倫理フォーラム H26 年 3 月開催予定 ④ 電気学会全国大会（H26. 3）シンポジウム開催予定 ・次世代の技術者育成のための取組みについて（仮題）
2	電子情報通信学会	・10 月 29 日（火）午後、日本大学 駿河キャンパス 1 号館にて「個人情報・プライバシーと倫理」をテーマに「技術と社

		<p>会・倫理研究会」を開催予定。 (http://www.ieice.org/ess/site/)</p>
3	日本機械学会	<p>・9月9日に、日本機械学会 2013 年度年次大会にて、ワークショップ「これからの機械系技術倫理教育は如何にあるべきか」を開催した。講演5件とパネルディスカッションがあった。</p> <p>講演題目：①日立の技術者倫理教育について、②技術者の倫理とは何かを再考する、③東日本大震災・原発事故の教訓をいかに生かすか、④技術者倫理教育モデル・シラバスの開発、⑤アンケートから見える技術者倫理教育の課題</p> <p>・9月10日、2013 年度第2回技術倫理委員会を開催した。</p>
4	日本技術士会	<p>・第1回倫理委員会(8/21)を開催し2年間の新体制スタート。全体活動計画をまとめ、3小委員会で行事を分担して計画・実施。</p> <p>・第1回技術者倫理ワークショップ(10/3、札幌)の準備。</p> <p>・学協会・業界団体の「倫理相談窓口」の設置・活動の調査</p>
5	日本原子力学会	<p>9月2日原子力学会事故調査委員会の最終報告の概要についての説明会を建築会館にて開催。</p> <p>9月3-5日原子力学会秋の大会を八戸工大にて開催した。事故調査委員会の最終報告書の概要について発表した。</p> <p>また、5日には倫理委員会の企画セッションを行った。</p> <p>社団法人 原子力安全推進協会の久郷理事が「原子力安全のための人材育成と世界の視点」という演題で講演した。東電福島第一原発事故を海外の関係機関はどう見ているか、技術面だけでなく、倫理・安全文化面から何が問題であったのか、課題を克服するために現在、電力業界はいかなる取り組みをしているのか具体的に説明され、非常に有意義であった。</p> <p>9月13日に第73回倫理委員会を開催した。</p> <p>東電福島第一原発事故を踏まえ倫理規定の改訂の議論を継続中。</p> <p>また、倫理協議会でも以前話題になった「技術者倫理と安全文化」についてその違いと取り組み方についての紹介と議論がなされた。</p>
7	日本工学教育協会	<p>・「技術者倫理教育における学習・教育目標 ver.1」を策定。それに基づき、モジュール型シラバスを作成中</p> <p>・H25/11/23(土)海外から技術者倫理教育関係者を招待して、学習・教育目標 ver.1」に関して意見交換会を開催予定。</p> <p>・H25/11/24(日)東京大学工学部において、第14回ワークショップ「技術者倫理」ーモデル授業の体験を通して学習・教育目標から技術者倫理教育を設計するーを開催予定。</p>

⑦次回開催について

- ・次回は、2013年11月7日(木)か8日(金)とする。
- ・時間は15:00~17:00とし、場所は東京理科大学森戸記念館2階会議室とする。(以上)